

## 図書館活用講座についての報告

立花志保

別府大学附属図書館で行われている情報リテラシー教育の活動の一環として、今年度行なった『図書館活用講座』について報告していきたい。

平成16年度より全学科の新入生を対象に図書館オリエンテーション（館内説明ビデオの閲覧、館内案内、貸出手続きの方法など）を行っている。平成18年度より併せて図書館で作成した『情報リテラシー』（冊子）を配布している。

新入生のオリエンテーション、そして情報リテラシーの冊子の配布は継続して行なわなければならないが、これは図書館を活用する際の基本的な知識を学生に持ってもらいたいという思いから行なっているものである。

実際に講義に関して図書館を活用する際や、レポート作成をしたり卒業論文や修士論文を書いたりする学生に対して、基本的な知識に加えて、実践力を培ってもらいたいという思いから情報リテラシー教育の講座を行うことにした。

日程は、学生が比較的空きコマがある曜日であること、休館日（第3水曜日）で、職員が参加できる環境であるということから11月21日に行うことにした。

対象は、全学年と一般の方とした。一般の方にも平成19年4月より貸出を行なっている（貸出冊数：2冊、貸出期間：2週間）

広報活動は、各学科長にお知らせし、ポスターを作成して館内や大学食物棟に掲示した。また、情報教育・メディアセンターへ依頼し別府大学HP（<http://www.beppu-u.ac.jp/>）のトップページにも載せてもらった。[図1]

受付は、参加希望者に図書館カウンターに来てもらい、申し込み用紙に記入してもらった。

事前研修として11月8日に『図書館活用講座 これであなかも図書館名人！～基礎の基礎～』という講座を川野先生と立花が受講した。大分県立図書館で1ヶ月に1回行われているもので、約40分間、本の並び方や、検索機の使い方、予約の仕方などの説明を受け、開架書庫などを案内していただいた。

案内の仕方は勿論、一緒に受講されていた一般の利用者の方達が、最初は不安な面持ちだったが、説明を受けていく中で、おそらくそうではないかと思っていたことが明らかになったり、今まで足を踏み入れたことのなかった場所に踏み入れたり、更には、来館していても今まで実は聞くことができなかったということを質問している姿や、少しずつ打ち解けて、最後には安心した表情になっていくところを見て、とまどう利用者にわかりやすい説明を行なうことや、図書館職員に質問しやすいきっかけを作る必要があると再確認し、非常に為になる研修だった。

それ以前から資料を作成していたが、この事前研修によって、大幅な訂正をおこなった。

内容は、資料の探し方の流れをフローチャートにし、それに沿った形で 学内編、学外編、ILL 編と大きく 3 つにわけた。パワーポイントで作成し、実際に講座で行なう際の順番に沿った資料を渡して説明を行なった。図書館の館内案内や平成 19 年 7 月より図書館のシステムを更新したことで新しくなった Web OPAC の検索方法、NII への検索方法、携帯からも OPAC を見ることができると、My Library への入り方なども加えて説明した。

また、講座終了後にアンケート [ 図 3 ] を実施することにした。受講者がどのように感じたかを知りたいと思ったことや、次回への改善点もその中から見えてくるのではないかと考えたからである。

アンケート集計結果 [ 図 4 ] を見るとこれからの図書館利用に役立つものであったという意見が多くみられた。また、学外の資料の探し方について今までわからなかったことを知ることができたという感想が多く今回の図書館活用講座の参加者の反応は概ね良いものであった。

参加者以外からも、この日は都合が悪いので別の日に行なって欲しかった、先生方から研究室の学生に行なって欲しいという要望があり、図書館活用講座への取り組みが様々な方面で評価してもらえたように思う。

改善点としては、図書館側としても時期が少し遅かったのではないかという反省もあり、時期や頻度なども考えていかなければならないということ、また学生のレベルに合わせたものにするには、これを基礎編として、図書館活用講座の種類も増やしたほうが良いのではないかという点が挙げられる。

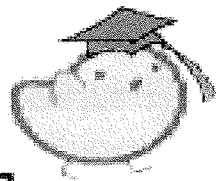
また、今回のアンケートの意見を、次年度の『情報リテラシー 2008』の冊子に反映させていくこと、情報検索の授業とタイアップし、教科の 1 コマとして講座を行なうことも検討中である。

## 「図書館活用講座」を開講、参加者募集

参加者数に限りがありますのでお早めに

11月21日(水)13:00から、「図書館活用講座」を本学附属図書館にて実施します。講座内容は、(1)図書・雑誌の検索、(2)ILL(図書館間相互利用)の申し込み方法についてです。学生、一般の方どなたでも参加できますので、興味のある方はお申し込みください。なお、講座への参加には事前の申し込みが必要です。図書館カウンターにて、もしくは電話(0977-66-9633)でお申し込み下さい。

# 図書館活用講座



論文・レポート作成に役立つ情報をお教えします☆

**内 容:** ① 図書／雑誌の検索  
② ILLの申し込み方法

**開催日:** 11月21日(水)

**時 間:** 13時～14時

**定 員:** 20名程度(先着順)

\*参加される方は、申し込みが必要です  
図書館カウンターまでお越しください

## 別府大学附属図書館

TEL:0977-66-9633  
FAX:0977-66-9632  
Mail:library@beppu-u.ac.jp

携帯版OPAC

<http://lib-opac.beppu-u.ac.jp/mobileopac>



[図1] 別府大学 HP : 図書館活用講座

所属学科	人数	内 訳
国文学科	2名	1年生1名、3年生1名
史学科	6名	3年生6名
文化財学科	2名	3年生2名
芸術文化学科	1名	2年生1名
大学院：日語・日文	2名	1年生1名、3年生1名
申込者数 15名	→ 14名	(2名欠席、1名追加)

[図2] 図書館活用講座参加者内訳

図書館活用講座評価アンケート

このアンケートは、これからの図書館活用講座をよりよくするために行うものです。無記名の調査になりますので、率直な意見をお聞かせください。  
ご協力お願いいたします。

記入は必ず正確に塗りつぶしてください。  
記入例 良い例 (●) 悪い例 (✓) (・) (ー) (±)

このアンケートは、次のような5段階評価です。  
5：強くそう思う 4：そう思う 3：どちらともいえない 2：そう思わない  
1：全くそう思わない

興味や関心をひくものであった	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
講座はわかりやすいものであった	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
話し方は聞き取りやすいものであった	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
時間は、適切であった	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
講座の進度は、適切であった	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
これからの図書館利用に役に立つものであった	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

この講座の感想を自由にご記入ください。

ありがとうございました。この講座を行ったことで、図書館利用が円滑に行えることを図書館職員一同願っております。

[図3] 『図書館活用講座』アンケート

<時期に関して>

・毎年、4月、5月くらいに新入生を対象にしてやればいいと思う(2名)
・定期的にやってもいいんじゃないでしょうか

<感想>

・実際の検索画面がのっていて、わかりやすかったです
・図や表で、わかりやすく説明してくださったので、とてもよかったです
・配布のプリントがあって非常に助かります
・この講座を聞いてこれから図書館の活用ができるようになると思う
・資料の検索も上手になりそうだという自信を持てるようになった
・たくさんの図書館についての情報を聞かせていただき、本当にありがとうございました
・いい勉強になりました
・知らなかったことが多かったので、色々知れてこれからの蔵書検索の際役に立つと思った
・これからの授業に役立つものでした
・次回もあれば参加したいです
・この活用講座を聞いて留学生の私に非常に役に立つと思います

<講座内容>

・NDCなど図書についてあまり知らない人にとってはいい講座だと思う
・プリント、画面、説明が分かりやすくてよかったです。(2名)
・パワーポイントの画面がもっと大きくてもよかったです(2名)
・NIIやNACSIS WebcatやWebcat plusのことがわかった(3名)
・ILLも初めて方法を知ることができたので良かった
・学外の資料の探し方が今まで分からなかったため、今回出席してよかったなと思いました

<活用>

・携帯版OPACを使ってみようと思いました
・友達にも教えてあげたいと思います(3名)
・これからの活用に取り入れたいです(2名)
・この講座が終わったらさっそく調べて探してみたいと思います

[図4] 図書館活用講座アンケート集計結果

(平成14年度 別府大学大学院・文学研究科卒 たちばな しほ 別府大学附属図書館)